

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守したスペースの確保はできており、特性に応じて受け入れ時に配慮やパーテーションで区切るなど環境調整を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		定員10名に対し、児童発達支援管理責任者1名、児童指導員2名、加配にて保育士1名となっております。支援分担表を作成し見える化することで無理のない支援体制を整えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		構造上はバリアフリーに整備されており、情報の視覚化をして様々な障壁に配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎朝ミーティングを行い、前日のご様子と当日の目標設定等を話し合い、チームで支援にあたっています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		課題と感じられる項目を全体で共有し改善しています。改善案を踏まえた集計結果を各ご家庭に配布しています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		ホームページで公開し、保護者への周知を行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者評価においては法人内事業所で順番に実施しており、今後、かぼのでも実施する予定です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間計画に沿って希望した研修の参加を行っています。リモートで法人内外の研修を積極的に参加しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメントから課題を把握し、スタッフ間で共有、検討を行い根拠に基づいた計画を作成しています。日々の療育内でのアセスメントに加え、保護者から家庭内で不安等あれば伺っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		バイナランドⅡによる適応行動尺度に基づいたアセスメント、広島県発達障害者支援センター発行のアセスメントシートを用いて特性、行動を適切に評価しプログラム提供のために活用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個別ケース会議、ミーティングを行い、前日のご様子と当日の目標設定等を話し合い、チームで支援にあたっています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎日同じスケジュールではなく、状況やメンバーに応じてニーズに沿った個別プログラム、集団プログラムを組み合わせ提供しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		日々個々の課題に合わせ、スケジュールやアセスメント内容を更新しながら設定しています。長期休暇の際は外出などを通して社会経験が積めるよう活動提供しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個々の課題やニーズに合わせて作成しています。集団活動に課題がある子、一人遊びが難しい子など、個別に応じて作成している。

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援開始前にはミーティングにて当日のプログラムの確認、変更・修正があれば適宜共有しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		当日の特記事項・引き継ぎがあれば共有し、翌朝により細かな詳細について検討しています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の様子を日誌へ記入しています。個別支援計画の目標に沿った内容を記録し、進捗の確認を行っています。必要であれば改善を行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		各関係機関と連絡をとりながら、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○		個別ニーズを考慮したうえで、活動を組み合わせ提供しています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者を中心に、主に支援する担当者も併せて出席しています。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		学校とは随時連携をとり、計画的に受け入れができるよう調整するなど、連携をしています。ご家族を通して確認することもあります。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、対象児はいませんが、インテーク時にかかりつけ医や主治医の情報は収集しています。法人内の看護師がいつでも応援に来れるように体制を整えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		児童発達支援事業所を利用していた場合は支援記録などの情報を収集しています。今後必要があれば、相談支援専門員を通じて情報収集を行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		今後、対象の方がいらっしゃった場合は、移行支援会議やケア会議を通して連携し、情報を提供しています。法人内・事業所内であれば密に連携を図っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		医療機関や基幹相談支援センターとの連携や、年3回のコンサルテーションを活用して、助言を受けています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		イベント、お祭りなどの行事に参加しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		発達支援部会や放課後デイサービス連携、月1回の子ども部会に可能な限り参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		基本的にお迎えをお願いし、密な関係作りを目指しています。申し送り時には、その日の活動の様子や状況をお伝えしています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		今後ペアレントトレーニングに力を入れていく予定です。ご相談の中で関わり方を伝えたり、理解を深めていただくようなお話をしています。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に説明をし、質問などあれば、その場でお答えしています。変更事項には文書を作成してお伝えしています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		日々のやりとりから悩み等を伺い、助言、支援や他機関に繋ぐなど必要な支援を行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	来年度より実施予定としています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情受付窓口を設置し、担当を中心に対応しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		LINE公式アカウントにてイベントの案内や日頃のお写真を送信させて頂いています。また、広報誌や通信等全体に向けたものではなく個別で対応させて頂いています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報に関わる書類などは鍵がかかる場所に保管しています。広報誌・HPなどで写真を掲載する場合には、保護者の同意をいただくようにしています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		特性に合わせた配慮を行っています。(イラストや写真、文書など) 表出表現の向上のためPECSカードを使用しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		来年度地域の方向けのイベントを検討しています。また、休所時は施設の貸し出しもしています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを策定し、職員間で周知しています。契約時には、保護者への説明を行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年間3回(火災避難訓練2回、災害時を想定した避難訓練1回)を行っています。実施日にご利用があった時のみご協力いただいています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		外部研修への参加と、年1回法人での権利擁護研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在対象児はいませんが、必要の場合には、マニュアルに沿って適切に行うこととしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	現在対象児はいませんが、アセスメント時に聞き取りを行って、確認をするようにしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットがあった際は、職員会議で周知と改善を行っています。また、ICTを活用していつでもヒヤリハットの確認が行えるようにしています。